

かごしま 市議会だより

2019 No.344

平成31年 2月1日
編集・発行 / 鹿児島市議会
☎099-224-1111(市役所代表) ☎099-216-1454(政務調査課直通)
<鹿児島市議会ホームページアドレス>
http://www.city.kagoshima.lg.jp/gikai/index.html



第4回定例会

市営住宅など公の施設の指定管理者指定議案可決 平成29年度決算を認定



鹿児島ユナイテッドFC

きばれ！新たなステージへの挑戦

～目次～



第4回定例会の概要、議決された主な議案の要旨

1面

個人質疑から

2～4面

決算審査から

4面

委員会から

4面

議会からのお知らせ

5・6面

議案等に対する各会派等の
表決態度

6面

連載

市議会
あんな話 こんな話
～第28話～

「洲崎に中央卸売市場」(後編)

4面

平成30年第4回定例会は、12月4日から12月21日までの18日間にわたって開かれました。

この定例会では、市営住宅など124施設の「公の施設の指定管理者の指定に関する件」をはじめ、「工事請負契約締結の件」や「景観条例一部改正の件」、かごしま近代文学館・メルヘン館および美術館の駐車場整備事業などを含む「平成30年度鹿児島市一般会計補正予算(第3号)」など議案21件を議決しました。

また、閉会中の継続審査の取り扱いとなっていた29年度一般会計、特別会計および企業特別会計の決算関係議案15件を議決しました。

議決された主な議案の要旨

- ▼公の施設の指定管理者の指定に関する件(10件)
市営住宅など124施設の指定管理者を指定するもの
《指定管理者を指定する施設》
市営住宅等(75施設)、児童センター(城南・三和・郡山)、北部親子つどいの広場、地域福祉館(41館)、軽費老人ホーム谷山荘、維新ふるさと館、かごしま健康の森公園、鹿児島ふれあいスポーツランド
- ▼自動車購入の件
観光地周遊バス(サクラジマイランドビュー)
- ▼工事請負契約締結の件
・奥之宇都線宇都トンネル(仮称)本体工事
・中山小学校校舎増築その他本体工事
- ▼鹿児島市景観条例一部改正の件
・歴史と文化の道地区を景観形成重点地区に指定し、同地区における届出対象行為等を定めるとともに、新たに一定規模の建築物の建築等に係る事前協議制度を設けるもの
- ▼鹿児島市営住宅条例一部改正の件
・大明丘住宅を建て替えるため、同住宅30戸を廃止するもの
- ▼鹿児島市議会議員及び鹿児島市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例一部改正の件
・公職選挙法の一部改正に伴い、新たに鹿児島市議会議員および鹿児島市長の選挙における選挙運動用ビラの作成に要する経費を公費で負担するとともに、題名等を改めるもの
- ▼平成30年度鹿児島市一般会計補正予算(第3号)
◎主な内容
・かごしま近代文学館・メルヘン館駐車場整備事業
・美術館駐車場整備事業
・介護老人福祉施設等整備費補助金
・側溝整備事業
- ▼固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件
・船倉 功氏

個人質疑から

第4回定例会では18人の議員が個人質疑を行いました。その中から一部を紹介します。

質疑者は下記のとおりです。

小川みさ子議員(無所属)	堀 純 則 議員(自由民主党)	田 中 良 一 議員(自民みらい)
のぐち英一郎議員(無所属)	大園 盛 仁 議員(黎明の会)	古 江 尚 子 議員(自由民主党)
たてやま清隆議員(日本共産党)	井 上 剛 議員(自民みらい)	大 森 忍 議員(社民市民フォーラム)
園 山 え り 議員(日本共産党)	杉尾ひろき議員(自由民主党新政会)	平山たかし議員(無所属)
松尾まこと議員(公明党)	小森のぶたか議員(公明党)	志摩れい子議員(自由民主党維新の会)
大園たつや議員(日本共産党)	奥山よしじろう議員(自由民主党新政会)	平 山 哲 議員(黎明の会)

(掲載記事は質疑順ではありません。)

インターネット放映
(アクセス方法)
市議会トップページ
→ インターネット議会中継録画




©KAGOSHIMA UNITED FC
歓喜に沸いたJ2昇格

鹿兒島ユナイテッドFCのJ2昇格とサッカー等スタジアム建設

問 鹿兒島ユナイテッドFCのJ3加入後4年目でのJ2昇格達成の快挙に対する市長の思いは。また、サッカー等スタジアム建設は市と県、市民等が一体となって取り組む必要のある大事業であると考えられるが、見解は。

答 平成30年11月25日のホーム最終戦、1万人を超えるスタジアムが一体となり、湧き上がる大歓声の中で、J2昇格が決定した瞬間に立ち会うことができた。そして、多くの皆さんと喜びを共有することができ、大いに感動するとともに、改めて鹿兒島におけるサッカーというスポーツの持つ力や可能性を再認識したところである。

今後においても、ホームタウンとして、鹿兒島ユナイテッドFCが新たなステージで存分に力を発揮できるように、引き続き支援を行っていきたくと考えている。サッカー等スタジアムについては、スポーツを通じたまちづくり推進の中核的施設であると考えており、また、地域活性化の起爆剤として、さまざまな波及効果を生み出す可能性のある施設であることから、現在、サッカー等スタジアム整備検討協議会において立地

について協議いただいている。これらの認識を県と引き続き共有しながら、関係団体と一緒にあってオール鹿兒島で取り組む必要があると考えている。

鹿兒島港本港区エリアのまちづくり

問 県が示した鹿兒島港本港区エリアまちづくりブランドデザインの本市における位置付けと本市の総合計画等との整合性は。また、大型商業施設等の立地に対する本市の見解と土地利用規制等の見直しに関する本市の権限および対応は。

答 同ブランドデザインは、本市にとって重要な本港区エリアにおけるまちづくりの基本となる構想であると認識しており、県が示したブランドデザイン案の開発コンセプトは、本市の基本的なまちづくりの方針である総合計画および都市マスタープランに合致するものと考えている。

また、大型商業施設等の立地については、いづろ・天文館地区等と共存できる施設となるような配慮が不可欠であることから、十分な検討が必要であると考えている。本市が決定権者である土地利用規制としては、ドルフィンポイント敷地において、都市計画法による用途地域と特別用途地区があり、まずは現状での検討が必要であると考えているが、開発コンセプトに合致し、市民の理解が得られたものであれば、ある程度の施設規模の緩和などについて柔軟に対応を検討したいと考えている。

ネーミングライツの導入

問 本市におけるネーミングライツ(公共施設への命名権)につ

いて、庁内に「ネーミングライツ導入委員会」を設置し検討を進めているが、市長の今後の考えは。

答 ネーミングライツは、施設の管理・運営に充てる新たな財源の確保や市民サービスの向上、ひいては地域経済の活性化を図る上で、有効な手段の一つとして、近年多くの自治体において導入が進んでいる。本市においても、公共施設等総合管理計画の基本方針の一つに民間活力の活用を掲げ、公共施設等を活用した歳入確保策を推進することとしたところである。

現在、これに基づき、ネーミングライツの導入に向け検討を進めており、今後、できるだけ早期に導入できるよう取り組んでいきたいと考えている。

ふれてみよう! かごんま弁事業

問 平成29年度から始まった「ふれてみよう! かごんま弁事業」の概要と30年度の変更点、児童生徒、教員からの感想は。また、同事業の効果と今後の取り組みは。

答 同事業は、鹿兒島弁の普及・継承に取り組む文化団体を小中学校に派遣し、演劇、朗読等を通じて、児童生徒に鹿兒島弁に身近に触れる機会を提供するもので、「鹿兒島弁を使う体験的な内容を盛り込んでほしい」との要望があったことから、30年度は、児童生徒が寸劇やクイズに参加するプログラムを盛り込んだところである。これまで児童生徒からは「鹿兒島弁はとてもおもしろい。使ってみたい」、教員からは「通常の学習では学ぶことのできない鹿兒島弁について、素晴らしい学習ができた」などの意見をいただいている。

事業の効果としては、児童生徒の鹿兒島弁に対する興味・関心が

高まることが挙げられるが、ひいては鹿兒島弁の継承や郷土に対する愛着の醸成にもつながっていくものと考えている。今後とも、さらに効果的な事業となるよう、引き続き取り組んでいきたい。



鹿兒島弁による寸劇の様子

家庭ごみ減量の取り組み

問 家庭ごみ減量のこれまでの取り組みと効果は。また、新たに設定されたゴールの根拠は。さらに、今後の取り組み、減量目標達成の見直しおよび目標達成がなされない場合の取り扱い。

答 家庭ごみの減量は、これまで町内会や校区単位での説明会を実施してきたほか、平成30年1月からは「金属類」の分別収集を開始したところである。これにより30年9月末の一人1日当たりの家庭ごみ量は51.2㌔となり、100㌔の目標に対し58㌔の減量効果があったところである。

今回、減量の目標達成期限となるゴールを33年3月に設定したが、これは、これまでの取り組みによるごみ量の推移を踏まえ、決定したものである。今後は、家庭ごみの大部分を占める「もやせるごみ」の減量が必要であることから、「生ごみ」の減量や「古紙類」などの分別の徹

底について重点的に取り組んでいく。また、これまで着実に減量が進んでいることから、このペースを維持することができれば、目標達成は十分可能であると考えている。

目標達成ができなかった場合は、その時点で、社会情勢等を踏まえ、家庭ごみの有料化も視野に入れ、改めてごみ減量を推進する方法について検討することになる。

地球温暖化対策推進の取り組み

問 本市の地球温暖化対策アクションプランに基づくこれまでの主な取り組みは。また、本市が参加している「気候変動イニシアティブ」の概要と期待される効果、参加団体数および参加団体としての今後の取り組みは。

答 本市は、同プランに基づき、再生可能エネルギーの導入促進などの施策を展開するとともに、平成30年度は、新たに市民や事業者と一体となって普及啓発を行う「かごしま市民 みんなでつなごう クールチョイス推進事業」を展開している。

「気候変動イニシアティブ」は、30年7月に設立された、気候変動対策に積極的に取り組む市内の企業や自治体、NGOなどの情報発信や意見交換を強化するためのネットワークで、脱炭素社会の実現に向けて、社会全体の機運を高めていくことなどが期待されている。参加団体は、現在、306団体でそのうち自治体は、本市を含む28団体となっている。本市としては、同ネットワーク主催のセミナーやイベント等への参加を通じて国内外の先進的な取り組みの情報収集を行い、今後の温暖化対策に生かしていきたいと考えている。

タンDEM自転車 一般走行解禁

問 県の道路交通法施行細則改正によりタンDEM自転車の一般走行が解禁されたが、改正の経緯と内容は。また、観光振興の観点から、例えば、桜島のなぎさ遊歩道等で観光客等に同自転車を貸し出すなどの検討は。

答 二人乗り用としての構造を有し、かつ、ペダル装置が縦列に設けられたタンDEM自転車については、同細則により、これまで県内では一般道路での走行は認められていなかったが、視覚障害者からの要望等を踏まえ、平成30年11月1日から16歳以上の運転者による走行が解禁されたところである。観光面での同自転車の活用については、新たな観光素材の一つとして期待できると思うが、一般走行が可能になったばかりであるので、今後、桜島での活用について検討してみたいと考えている。



一般走行が解禁されたタンDEM自転車

光ファイバー回線の 普及の現状と課題

問 本市の光ファイバー回線の普及率とこれまでの取組状況は。また、今後の本市における取組みと課題は。

答 事業者によると、エリア内の利用可能世帯数を総世帯数で除した世帯力パー率が、本市の場合約90割とのことである。

本市としては、これまで住民等の要望を事業者に伝えるほか、全国市長会などを通じて、通信環境の改善促進に対する国の支援措置を要望してきているところである。また、未整備地域の整備については、長期安定的な財源の確保や事業者との調整等が必要となることから、引き続き、国の支援措置等に関する動向や高速無線など通信手段の多様化の状況などを注視していく。

認知症サポーター

問 認知症サポーターの延べ養成者数、サポーターステッカーの交付数と取り組みの効果は。また、「認知症の人等にやさしいまちづくり」を推進する上での課題は。

答 平成30年10月末現在のサポーター養成者数は延べ約4万2千人、ステッカー交付事業所数は605事業所で、認知症の正しい知識の普及・啓発が図られてきているものと考えている。また、認知症の人は今後さらに増加すると見込まれることから、引き続き同サポーターの養成を進め、地域で支える体制の構築を推進していくことが重要であると考えている。



認知症サポーターステッカー

放課後児童クラブの 待機児童解消と支援員不足

問 本市が設置する児童クラブの直近の待機児童数と待機児童解消への今後の見通しは。また、児童クラブが増える一方で、支援員のなり手不足が問題となっているが、その認識と対策は。

答 本市が設置する児童クラブ

の待機児童数は、平成30年8月1日現在97人で、そのうち、和田、川上、錦江台校区については、31年4月の開設に向け、現在2階建ての専用施設の整備を進めており、57人の待機児童が解消される見込みである。また、その他の校区については、設置場所の確保等について、関係者等との協議を行っているところである。

児童クラブの支援員については、クラブ数の増加等もあり、校区によつては、その確保に苦慮している状況があると認識している。このため、支援員報酬等の時間単価の引き上げなど処遇改善を図ってきているが、今後、各クラブの支援員募集に関する必要な支援などに、さらに取り組んでいきたいと考えている。

幼児教育無償化における 認可外保育施設の取り扱い

問 国において検討されている幼児教育・保育無償化について、現時点で無償化の対象となる認可外保育施設や児童、助成額の考え方は。また、期待される効果、保育ニーズの変化、課題について本市の認識は。

答 認可外保育施設については、国の指導監督基準を満たす施設を対象とし、保育の必要性がある児童について、3歳から5歳児は月額3万7千円を、住民税非課税世帯の0歳から2歳児は月額4万2千円をそれぞれ上限に無償化する考え方が示されており、同基準を満たしていない場合でも、5年間は対象とする猶予期間を設けることとされている。

幼児教育の無償化により、保護者の経済的な負担が軽減されるとともに、安心して子育てができる環境づくりに寄与するものと考えているが、無償化に伴い保育需要

磯新駅の検討調査結果

がさらに拡大することが考えられることから、その受け皿の確保などが課題であると認識している。

磯新駅検討調査に関する協議

問 磯新駅検討調査に関する協議会のとりまとめ結果に対する率直な感想は。また今後、駅設置に向けたどのような考えで進めていくのか。

答 磯新駅については、平成29年4月に協議会を設置し、2カ年にわたり、さまざまな面から駅設置が可能かどうか、慎重に協議いただいたところである。本市としては、「交通シミュレーションの結果、渋滞が悪化する時間帯があることなどについて、地元住民や道路利用者の理解が得られること」、「世界遺産等の価値が損なわれないこと」、「経済界が主体的に進める体制が構築されること」の三つの条件が整った場合に設置が可能とした協議会の検討結果を尊重し、今後、道路利用者の理解を得るための取り組みや、世界遺産・史跡の保全に関する国等との協議など、必要な協力支援は行っていききたいと考えている。

ドリームワールド 関係者の来鹿

問 平成30年11月にオーストラリアのドリームワールド関係者が来鹿し、平川動物公園のコアラの飼育状況を確認した際にいただいた感想とアドバイスの内容は。また、そのアドバイスを今後の飼育環境の改善にどのように生かしていくのか。

答 同関係者からは、コアラの繁殖の成功が続いている平川動物

公園の繁殖・飼育技術はトップクラスであると称賛の声をいただくとともに、屋外展示に関して「コアラは寒さには強いが、暑さには気を付ける必要がある」などのアドバイスをいただいた。

コアラの飼育環境については、今後、アドバイスを踏まえ、引き続きユーカリの確保に努めるとともに、屋外で展示を行う個体については、気温の差による健康状態の変化を常に把握しながら、必要な対策を講じていきたいと考えている。



ドリームワールド関係者視察の様子

観光農業公園 生産用農場豚舎建設

問 観光農業公園内の民間参画ゾーンにある生産用農場豚舎の事業者決定までの経緯と提案のあった事業の概要、スケジュールは。

答 同公園の豚舎については、当初予定していた事業者の辞退後、2回の募集に対しても応募がなかったが、今回、事業者からの利用の申し出があったことから、平成30年6月に改めて募集を行い、庁内の検討委員会での審査を経て、民間参画事業者として決定したところである。

事業の概要については、黒豚の飼料に焼酎かすを用い、豚糞は全て堆肥化する資源循環型のリサイ

クル養豚を行い、飼養頭数は約千頭を予定している。また、臭気の拡散防止に効果のある噴霧装置や自動集糞装置の導入のほか、密閉型の浄化槽を設置するなどの対策を講じている。

県産材等木材活用による まちの整備

問 公共建築物等木材利用促進法の目的、概要は。また、本県の方針および本市の基本的な考え方と県産材等木材を活用したまちの整備に対する見解は。

答 同法は、公共建築物等における木材の利用を促進するため、木材の適切な供給の確保に関する措置を講じることや、公共建築物の定義、国・地方公共団体の責務等を定めている。

県の方針では、公共建築物への木材利用の積極的な促進を図ることにより、住宅等の一般建築物への波及効果が期待されることなどの意義を踏まえ、可能な限り木造化等を図るとの考えの下、県・市町村の役割や、かごしま材の利用促進などが基本的方向として定められている。

本市としても、木材はぬくもりや安らぎを与える材料であり、地域経済の活性化なども期待できることから、市有の公共建築物において、用途や規模、費用等を踏まえ、可能な限り活用を図ることとしている。また、公共施設や住宅、木塀などの工作物、木製備品等に木材を活用することが県産材の利用拡大につながるから、国・県の補助事業の活用を促進するとともに、その啓発に努めていきたい。

まちなか図書館の整備

問 千日町1・4番街区の再開発ビル内に整備される図書館と事業本体の進捗状況、整備におけるターゲットや特色は。また、「まちなか図書館」への意見・要望をパブリックコメントの実施以前に公募する考えは。

答 同図書館については、基本構想作成業務をプロポーザル方式で募集し、平成30年12月に契約候補者の選定を行ったところであり、再開発事業については、30年11月から既存建物の解体工事に着手している。ターゲット等については、図書館と子供の遊び場やカフェ等を官民が連携し併設することで、幅広い年齢層の人々が集う、にぎやかで開放的な空間の創出を図りたいと考えている。

また、市民意見については、30年度に基本構想の作成を行う中で聞いていきたいと考えている。

水道法改正

問 政府は水道法改正について、「コンセッション方式」は強制的なものではなく、それぞれの自治体の一つの選択肢だと述べているが、メリットがなければ導入しないと受け止めてよいか、見解は。

答 水道事業は、市民生活や社会経済活動を支える都市基盤として、重要なライフラインであることから、これまで健全な経営を維持しながら、市民に安心で安全な水を供給するよう取り組んできたところである。

今回の法改正は、水道の基盤強化を目的としているが、水道が国民の日常生活に直結し、その健康

を守るために不可欠な施設であり、水が貴重な資源であるという法の趣旨を踏まえ、国および地方公共団体は、それぞれの責務を果たすべきものと考えており、「コンセッション方式」への取り組みについては、今後とも国等の動向を注視していきたいと考えている。

解説 コンセッション方式

PFI（民間が事業主体としてその資金やノウハウを活用して、公共事業を行う方式）の一類型で、利用料金の徴収を行う公共施設について、施設の所有権を地方公共団体が所有したまま運営権を民間事業者に設定する方式

消防団員数の推移等と救命講習の実施状況

問 本市の過去3年間の消防団員数、充足率および消防団員に占める被雇用者の割合と協力事業所への取り組みは。

また、消防局による救命講習の実施状況と、教職員に指導資格を取得させ、児童生徒への講習を行うべきと考えるが見解は。

答 平成28年、29年、30年の順に、4月1日時点の消防団員数は1480人、1472人、1476人、充足率は97・3割、96・8割、94・0割、被雇用者の割合は68・9割、70・1割、71・1割となっており、協力事業所に対しては、県および本市の建設工事等の入札における優遇や表彰の制度が設けられている。

29年度の普通救命講習の実施状況は、226回6106人で、それに従事した消防団員の実施回数および延べ人数は、63回175人、うち女性団員は20回46人である。

教職員に対し、指導の資格を取得するための講習を行ったことはないが、保護者や生徒も含めた普

決算審査から

外国人観光客の受け入れ体制

問 外国人観光客受入事業の実績および成果は。

答 同事業については、平成29年度、新たに外国語版の「観光ガイドマップ」を作成したほか、マリポートかごしま等でクルーズ船が寄港した際に中心となって受け入れ等を行っている鹿児島海外観光客受入協議会に対する負担金に加え、民間施設等が行う飲食メニューの外国語表記やWiFi設置に対する補助金を支出したところである。

これらの取り組みにより、外国人が滞在しやすい環境が整いつつあるものと考えている。

問 30年6月の県議会で県当局から、「マリポートかごしまへ大型クルーズ船が寄港した際のツアーパスの混雑対策は、鹿児島市の中心市街地のまちづくりをどうするかという観点で、一義的には鹿児島市が中心となって考えるべき部分が大い」という考えが示されているが、本市の取組状況は。

答 29年度は課題に対する対応が進んでいない状況にあったが、30年度に入り、鹿児島海外観光客受入協議会とポートセールスを中心とする鹿児島港利用促進協議会において一体的に協議していくこととなり、現在、五つのワーキンググループをつくり、さまざまな課題について協議しているところである。

特に、二次交通や渋滞対策については、本市が中心となって取りまとめを行うことにしていること

から、今後においても県や商工会議所、NPO法人ゆめみなど鹿児島等とも連携を図りながら、課題解決に向け取り組んでいきたい。



大型クルーズ船で寄港した外国人観光客

市立病院の決算に対する評価

問 平成29年度の病院事業特別会計決算について、2億377万2千円の純損失となった理由および決算に対する評価は。

答 29年度決算は、前年度と比べ、入院・外来ともに患者数は増加したものの、旧病院跡地の売却益などの特別利益がなかったこと等により減収となった一方、注射薬の使用量や手術件数の増に伴う材料費および給与改定等に伴う給与費の増などにより、費用が増加した結果、純損失となったところである。

評価としては、29年度は医療機能の強化や診療体制の充実に努めるとともに、地域医療機関とのさらなる連携に取り組んだ結果、30年3月に地域医療支援病院に承認され、30年4月にはDPC特定病院群の指定を受けたところである。また、入院外来ともに患者1人当たりの診療単価が増加したこと等により、医業収益は過去最高となつており、決算上は純損失となったものの経常収支は順調に回復してきているものと考えている。

委員会から

市営住宅等への指定管理者制度導入

問 平成31年4月からの5年間で、市営住宅等の指定管理者として公益財団法人鹿児島県住宅・建築総合センターが行う業務のうち、苦情処理や滞納整理に関する事務の流れは。特に、滞納整理については福祉的な対応が求められるケースもあると考えるが、本市としてどのように関わっていくのか。

答 苦情処理事務については、指定管理者が寄せられた苦情を受け、内容確認後、対応が必要となる場合は、改善や指導を実施することとしており、その後、苦情処理記録を整備することになっていく。なお、本市への報告につい

ては、指定管理者が改善・指導を実施したものに限って報告するような流れを考えているが、指定管理者が対応に苦慮する場合には、改善・指導を行う前の内容確認の段階で報告を受け、本市と協議の上、連携して対応することもあると考えている。

また、滞納整理関連の事務については、本市で定めた事務処理要領に基づき指定管理者が対応することとしており、滞納発生後は、入居者や連帯保証人に対し、それぞれの段階に応じて督促状や催告書等の送付事務を行い、その後、法的措置対象者を選定の上、本市へ報告を行うことになっている。なお、同センターからは、滞納対策として、滞納の初期段階における対応を徹底するとの提案もなされていることから、同センターや福祉部局と十分に連携を図る中で、これまで以上に丁寧な対応に努めていきたいと考えている。

市議会 あんな話・こんな話 第28話

「洲崎に中央卸売市場」(後編)

昭和9年1月に市と市会(市議会に「中央卸売市場候補地に名山堀を」との陳情書が提出される中で、市会では中央卸売市場問題に取り組むために、9年2月に市場委員会を発足させました。

委員たちは東京、大阪、静岡、下関などの先進地を視察して調査、研究に当たりました。先進地視察を通じて得た結論は、中央卸売市場としての規模、機能を考慮すると、陳情を受けた名山堀の開設は不適格で、洲崎(城南町)が好ましいということでした。同委員会は「市中央卸売市場は洲崎に開設すべきである」との結論に基づき意見をまとめ、9年12月8日の市会協議会で委員会報告をしました。結果、満場一致で洲崎に開設することが議決されました。

10年4月12日、市中央卸売市場は、農林省の開設認可を受け、同年11月



現在の魚類市場

本会議の傍聴にお越しく下さい

親子席や車いすスペースを設置しています！

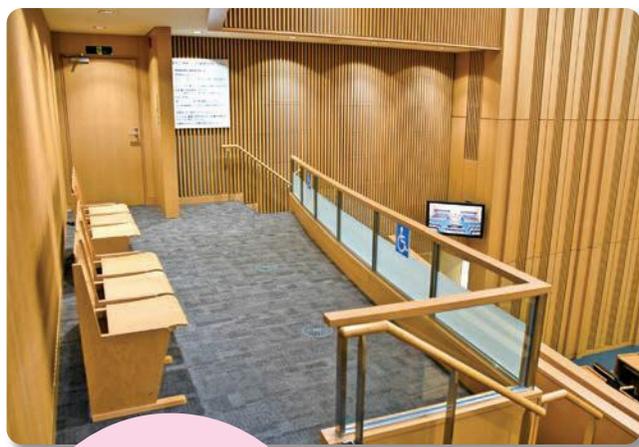
傍聴を希望される方は、西別館4階の本会議傍聴受付までお越しく下さい。

傍聴受付で、傍聴人受付名簿に住所、氏名等をご記入いただいた後、係員が傍聴席へご案内します。なお、傍聴の際は、守っていただく事項もありますのでご了承ください。

- ・耳の不自由な方のために議場のマイクの音を聞き取りやすくするワイヤレス補聴器を用意しています。
- ・手話通訳や要約筆記を希望される方は、傍聴希望日の5日前(閉庁日を除く。)までにご連絡ください。手話通訳および要約筆記に要する費用の本人負担はありません。
- ・身体障害者の方は補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)と同伴で傍聴できます。

親子席

防音機能を備えたガラス張りの部屋になっていますので、子ども連れの方も安心して傍聴できます。



車いすスペース
車いすを使用している方も気軽に傍聴できます。



ワイヤレス補聴器
音声が聞こえにくい方に貸し出します。

市議会事務局総務課

☎ 099-216-1450(直通)

市議会だよりの点字版・音声版の作成

目の不自由な方々に市議会の活動を知っていただくために、市議会だよりの点字版・音声版(テープ・CD)を作成しています。

配布を希望される方は、市議会事務局政務調査課 ☎099-216-1454(直通)までご連絡ください。



請願と陳情

市政に対する市民の要望や希望を直接反映させるための方法として、だれでも請願書や陳情書を議会に提出することができます。本市議会では、本市の議員の紹介があるものを「請願」、議員の紹介がないものを「陳情」として扱っています。

請願の場合は、すべて委員会に付託し、会期中(定例会の期間中)または閉会中(定例会終了後から次の定例会が始まるまでの間)に審査します。

陳情の場合は、委員会に付託するものと全議員に参考送付するもの(陳情内容が国等へ意見書提出を求めるものや委員会付託になじまないと判断されるものなど)がありますが、付託されますと、原則として閉会中の委員会において審査します。

会議録の閲覧・貸し出し

会議録は、下記の公共施設で閲覧や借りることができます。

【閲覧・借りることができる施設】

市立図書館、県立図書館、地域公民館、勤労女性センター、勤労青少年ホーム、サンエールかごしま、市消費生活センター

【閲覧ができる施設】

市議会図書室、市政情報コーナー、市民相談センター、各支所、地域福祉館、高齢者福祉センター、知的障害者福祉センター、福祉コミュニティセンター、勤労者交流センター、校区公民館

【会議録検索システム】

市議会ホームページにある「会議録検索システム」で平成6年以降の会議録を開催年、ことば、発言者名などで検索・閲覧できます。

<アクセス方法>

市議会トップページ→「市議会会議録検索システム」



政務活動費収支報告書等のインターネット公開

平成28年5月分からの政務活動費収支報告書と収支内訳書、領収書等の写しを、インターネットで公開しています。

政務活動費の交付を受けた会派ごとに、平成30年3月分までの文書をご覧いただけます。

詳しくは市議会ホームページをご覧ください▶



政務活動費とは

地方自治法および鹿児島市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、鹿児島市議会議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付されるものです。

市議会図書室でも政務活動費収支報告書等を閲覧できます

平成25年度分からの収支報告書等の写しは、市議会図書室で閲覧できます。閲覧を希望される方は、市議会事務局総務課(本庁舎西別館3階)までお越しく下さい。

閲覧場所：市議会図書室(本庁舎西別館4階)

閲覧時間：午前8時30分～午後5時15分(閉庁日を除く。)

市議会事務局総務課 ☎ 099-216-1450(直通)

市議会事務局議事課 ☎ 099-216-1456(直通)

議案等に対する各会派等の表決態度

○賛成 ×反対

議案名	自由民主党新国会	公明党	社民市民フォーラム	自民みらい	民主・無所属の会	自由民主党維新の会	自由民主党	日本共産党	黎明の会	無所属A	無所属B	無所属C	結果
	自由民主党新国会	公明党	社民市民フォーラム	自民みらい	民主・無所属の会	自由民主党維新の会	自由民主党	日本共産党	黎明の会	無所属A	無所属B	無所属C	
▼平成29年度鹿児島市一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	認定
▼平成29年度鹿児島市介護保険特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	
▼平成29年度鹿児島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	
▼平成29年度鹿児島市交通事業特別会計決算について議会の認定を求める件	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	
▼平成29年度鹿児島市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	
▼平成29年度鹿児島市病院事業特別会計決算について議会の認定を求める件	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	
▼平成29年度鹿児島市船舶事業特別会計決算について議会の認定を求める件	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	
▼平成29年度鹿児島市特別会計歳入歳出決算関係 [5件] ・土地区画整理事業清算特別会計 ・地域下水道事業特別会計 ・母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計 ・中央卸売市場特別会計 ・桜島観光施設特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
▼平成29年度鹿児島市水道事業剰余金処分についての議会の議決及び平成29年度鹿児島市水道事業特別会計決算についての議会の認定を求める件	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	
▼平成29年度鹿児島市工業用水道事業剰余金処分についての議会の議決及び平成29年度鹿児島市工業用水道事業特別会計決算についての議会の認定を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
▼平成29年度鹿児島市公共下水道事業剰余金処分についての議会の議決及び平成29年度鹿児島市公共下水道事業特別会計決算についての議会の認定を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
▼公の施設の指定管理者の指定に関する件 [1件 市営住宅など75施設]	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	可決及び認定
▼平成30年度鹿児島市一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	
▼公の施設の指定管理者の指定に関する件 [9件 地域福祉館など49施設]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
▼自動車購入の件 [観光地周遊バス（サクラジマアイランドビュー）]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
▼工事請負契約締結の件 [奥之宇都線宇都トンネル（仮称）本体工事]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
▼公有水面埋立てについての意見に関する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
▼鹿児島市景観条例一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
▼鹿児島市営住宅条例一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
▼工事請負契約締結の件 [中山小学校校舎増築その他本体工事]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
▼鹿児島市議会議員及び鹿児島市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
▼平成30年度鹿児島市病院事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
▼平成30年度鹿児島市船舶事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
▼固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情 ▼市電の乗降方法について	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択

会派名等	議員数	所属議員名	会派名等	議員数	所属議員名
自由民主党 新政会	13人	中元かつあき 霜出佳寿 佐藤高広 瀬戸山つよし	民主・無所属の会	5人	米山たいすけ 伊地知紘徳 三反園輝男 ふじた太一
		杉尾ひろき わきた高德 奥山よしじろう 川越桂路			片平孝市
公明党	6人	山口たけし 仮屋秀一 小森こうぶん 上門秀彦	自由民主党 維新の会	4人	柿元一雄 志摩れい子 中島蔵人 幾村清徳
		長田徳太郎	自由民主党	3人	堀 純則 古江尚子 入船攻一
社民・市民 フォーラム	6人	しらが郁代 松尾まこと 上田ゆういち 長浜昌三	日本共産党	3人	園山 えり たてやま清隆 大園たつや
		小森のぶたか 崎元ひろのり	黎明の会	2人	大園盛仁 平山 哲
自民みらい	5人	平山タカヒサ 中原ちから 大森 忍 ふじくぼ博文	無所属A	1人	平山たかし
		森山きよみ 秋広正健	無所属B	1人	小川みさ子
		徳利こうじ 蘭田裕之 井上 剛 田中良一	無所属C	1人	のぐち英一郎
		うえだ勇作			

調査時報（2019年1月号）の発行

市議会事務局では、平成30年度常任（建設）・特別（桜島爆発対策・都市整備対策）委員会行政調査報告、30年度鹿児島市友好代表団視察報告を掲載した「調査時報」を発行しました。市議会ホームページや下記の施設で閲覧できます。



<アクセス方法>
市議会トップページ→「調査時報」

【閲覧ができる施設】

市議会図書室、市政情報コーナー、鹿児島中央駅市民プラザ、市民相談センター、市消費生活センター、各支所、地域福祉館、高齢者福祉センター、知的障害者福祉センター、吉田福祉センター、福祉コミュニティセンター、勤労者交流センター、市立図書館、県立図書館、地域公民館、勤労女性センター、勤労青少年ホーム、サンエールかごしま



本会議の中継

1 本庁・各支所におけるモニター中継
本会議の様子は、本庁や各支所のロビーなどでご覧いただけます。

2 インターネットによる中継・録画放映

パソコンやスマートフォン、タブレット端末で本会議をリアルタイムで視聴できるほか、平成20年第2回定例会以降の本会議の様もご覧いただけます。



<アクセス方法>
市議会トップページ→「インターネット議会中継録画」



市議会事務局政務調査課 ☎ 099-216-1454(直通)

